

3.3 うねりにより被災したモデル地区の選定

うねりのより被災した海岸保全施設への影響を検討するため、代表的なモデル地区として、8地区の選定をした。

(1) 第一段階の選定（モデル地区候補：16地区の選定）

モデル地区の選定にあたっては、既往資料の収集整理及びアンケート結果から、うねり性波浪による被害が発生した海岸を対象に選定を行う。

第一段階の選定として、第1回目のアンケート結果から整理したうねりによって被災した海岸保全施設の中から、以下の考え方にに基づき16の候補地区を選定した。表 3-5に選定した16の候補地区を示す。

- うねりのよる被害が多い地区を中心に選定する。
- 海陸域や陸域の施設から選定する。

表 3-5 第一段階のモデル地区の選定候補（16地区）

うねりによる全被災地区(58地区)より

都道府県	地方区分	海域区分	被害発生時期					漁港名	近傍の ナウファス地点	擾乱種類	波浪形態	波浪諸元			被害施設名	被害形態
			和暦	年	月	日	時					波高(m)	周期(s)	波形勾配		
岩手県	東北	太平洋	平成27	2015	10	8	19	小袖漁港	久慈	台風23号	うねり	5.30	12.6	0.024	①護岸(陸域)	①施設被害
新潟県①	北陸	日本海	平成13	2001	2	2		新川漁港	新潟沖	日本海低気圧	うねり	3.40	10.0	0.024	⑥突堤(陸海域)	①施設被害
新潟県②	北陸	日本海	平成15	2003	12	19		大和川漁港	直江津	日本海低気圧	うねり	2.37	8.8	0.021	②護岸(陸海域)	①施設被害
富山県①	北陸	日本海	平成20	2008	2	24	2	入善漁港	伏木富山	日本海低気圧	うねり	4.22	14.2	0.016	②護岸(陸海域)	①施設被害
富山県②	北陸	日本海	平成20	2008	2	24	0	入善漁港	伏木富山	日本海低気圧	うねり	4.22	14.2	0.016	⑥突堤(陸海域)	①施設被害
石川県①	北陸	日本海	平成14	2002	1	8	23	曾々木漁港	輪島	日本海低気圧	うねり	3.89	10.8	0.022	②護岸(陸海域)	①施設被害
石川県②	北陸	日本海	平成16	2004	8	19	23	前波漁港	輪島	台風15号	うねり	4.01	11.9	0.020	②護岸(陸海域)	①施設被害
福井県①	北陸	日本海	平成24	2012	12	6		糠漁港	敦賀	日本海低気圧	うねり	4.21	10.9	0.024	⑥突堤(陸海域)	①施設被害
福井県②	北陸	日本海	平成28	2016	1	20		日向漁港	敦賀	冬型気圧配置	うねり	4.33	11.1	0.024	①護岸(陸域)	①施設被害
静岡県	東海	太平洋	令和元	2019	10	12		下流漁港	下田	台風19号	うねり	6.66	14.7	0.024	②護岸(陸海域)	①施設被害
和歌山県	近畿	太平洋	平成30	2018	9	30		周参見漁港	潮岬	台風24号	うねり	4.40	11.6	0.022	⑥突堤(陸海域)	①施設被害
高知県	四国	太平洋	平成26	2014	8	8~10		穴内漁港	室津	台風11号	うねり	4.79	13.6	0.024	②護岸(陸海域)	①施設被害
長崎県	九州・沖縄	日本海	平成24	2012	9	17		千千石漁港	伊王島	台風16号	うねり	4.52	12.2	0.024	①護岸(陸域)	①施設被害
宮崎県	九州・沖縄	太平洋	平成17	2005	9	4		川南漁港	細島	台風14号	うねり	5.88	14.3	0.022	②護岸(陸海域)	①施設被害
鹿児島県	九州・沖縄	日本海	平成18	2006	9	18		坊泊漁港	志布志	台風13号	うねり	3.09	10.8	0.018	①護岸(陸域)	①施設被害
沖縄県	九州・沖縄	日本海	平成15	2003	9	11	3	久松漁港	那覇	台風16号	うねり	3.01	10.8	0.019	②護岸(陸海域)	①施設被害

(2) アンケート調査（第2回）の実施と概要

モデル地区候補（16地区）の被災状況の詳細を把握するため、16地区の漁港海岸管理者を対象に実施したアンケート調査の概要を示す。第2回アンケートに使用した岩手県の調査票を表 3-6に例示する。

- ・ 目的：うねりにより被災した海岸保全施設への影響を検討するための被災詳細の調査
- ・ 内容：
 - 調査Ⅲ-1 対象施設の被災形態の詳細
 - 調査Ⅲ-2 被災当時の設計計算書の提供依頼
 - 調査Ⅲ-3 被災当時の標準断面と平面の提供依頼
- ・ 対象：16地区の海岸保全施設管理者
- ・ 方法：Excelファイルによるアンケート調査票（選択形式と記述形式）
- ・ 期間：令和2年8月18日～9月7日

表 3-6 第 2 回アンケートに使用した調査票（岩手県）

調査Ⅲ 対象施設に対する被災情報（対象区間）の内容について

- ・本調査は、「漁港海岸事業設計のうねり性波浪の検討に向けたアンケートについて」で実施しました回答結果に基づき第2回のアンケート調査として実施します。
- ・アンケート調査【第1回】の回答結果から、うねりによる被害と判断できた海岸保全施設の中で代表的な事例を対象としました。
- ・対象とする施設の基本情報を以下に示します。
- ・調査は全5問（調査Ⅲ-1～調査Ⅲ-5）あります。

基本情報		
調査Ⅱで対象とする海岸保全施設		
A 被害発生時期	平成27年10月8日19時	※アンケート調査【第1回目】の結果より記入
B 漁港名	小袖漁港	※アンケート調査【第1回目】の結果より記入
C 海岸名	小袖漁港海岸	※アンケート調査【第1回目】の結果より記入
D 被害施設名	①護岸(陸域)	※アンケート調査【第1回目】の結果より記入
E 被害形態について	①施設被害	※アンケート調査【第1回目】の結果より記入
F 備考	基礎捨石流出、被覆ブロック飛散	※アンケート調査【第1回目】の結果より記入
近隣のナウファス地点	久慈	※波浪観測データを利用した分析により記入済
擾乱種類	台風23号	※波浪観測データを利用した分析により記入済
波浪形態	うねり	※周期8秒以上かつ波形勾配が0.025未満の観測波浪形態

調査Ⅲ-1 被災した施設に対する被災後の状況と形態について		
対象施設に対する被害後の状況、形態についてお伺いします。		
◆被災した施設に対する被災額をご記入ください。		
	¥	円
◆被災した施設に対する被災後の状況、形態が分かる災害状況報告書もしくは査定設計書をご提供ください。【デジタルデータもしくは紙コピー】		
☒	提供可能	☐ 提供不可 ◆資料提供の有無について、左のチェックを入れて下さい。
◆被災した施設に対する主な被害の状況、形態を3つまでご回答ください。選択肢に無い場合は「その他」を選択し、右側空欄に記入ください。		
A-1 被災箇所	選択ください	---> その他: 記入ください
B-1 被災形態	選択ください	---> その他: 記入ください
A-2 被災箇所	選択ください	---> その他: 記入ください
B-2 被災形態	選択ください	---> その他: 記入ください
A-3 被災箇所	選択ください	---> その他: 記入ください
B-3 被災形態	選択ください	---> その他: 記入ください

調査Ⅲ-2 被災した施設の築造時設計条件について		
被災した対象施設の築造時設計条件についてお伺いします。		
◆被災した施設の築造時の設計図書をご提供ください。【ご提供が可能な範囲かつ可能なデータ形式（もしくは紙コピー）で構いません】		
☒	提供可能	☐ 提供不可 資料提供の有無について、左のチェックを入れて下さい。
◆被災した対象の築造時設計条件をご記入ください。		
C 潮位（H.H.W.L.）	基準	0.00 m 基準は「DL」もしくは「TP」をご記入ください。分からない場合は「不明」と記入ください。
D 潮位（H.W.L.）	基準	0.00 m 基準は「DL」もしくは「TP」をご記入ください。分からない場合は「不明」と記入ください。
E 潮位（L.W.L.）	基準	0.00 m 基準は「DL」もしくは「TP」をご記入ください。分からない場合は「不明」と記入ください。
F 設計沖波の設定年度	西暦or和暦	設計沖波の設定年度を記入ください。（西暦もしくは和暦可）
G 沖波波高 H_b		99.00 m 分からない場合は「不明」と記入ください。
H 沖波周期 T_0		999.0 秒 分からない場合は「不明」と記入ください。
I 沖波確率年	選択ください	⇒ ④の場合は、右欄に具体的に記入ください。 -----> : その他
◆設計区間が複数設定してある場合は、築造時の設計波高が最も大きい設計区間を対象にご回答ください。		
設計区間を記入ください	記入ください	
J 堤前波高 H		99.00 m 分からない場合は「不明」と記入ください。
K 換算沖波波高 H'		99.00 m 分からない場合は「不明」と記入ください。
L 被災施設の水深 h	基準	99.00 m 基準は「DL」もしくは「TP」をご記入ください。分からない場合は「不明」と記入ください。

調査Ⅲ-3 標準断面図と平面図のご提供について		
被災した対象施設の図面（デジタルデータ等）についてお伺いします。		
◆被災した対象施設の標準断面図および平面図をご提供ください。		
☒	提供可能	☐ 提供不可 資料提供の有無について、左のチェックを入れて下さい。

調査Ⅲ-4 地形データのご提供について		
対象施設の設計で使った地形データについてお伺いします。		
◆対象施設の設計において波浪変形計算で使った地形データをご提供ください。【図面でも可】		
☒	提供可能	☐ 提供不可 資料提供の有無について、左のチェックを入れて下さい。
◆対象施設周辺の地盤高が分かる地形データをご提供ください。【図面でも可】		
☒	提供可能	☐ 提供不可 資料提供の有無について、左のチェックを入れて下さい。

調査Ⅲ-5 被災時の波浪状況について		
被災時の波浪状況についてお伺いします。		
◆被災時の波浪状況（波高、周期、波向き等）は分かれますか？		
☒	分かる	☐ 不明 ◆被災時の波浪状況について、左のチェックを入れて下さい。
◆被災時の波浪状況が分かる資料を提供ください。【被災時の波浪状況が分かる場合】		
☒	提供可能	☐ 提供不可 ◆資料提供の有無について、左のチェックを入れて下さい。
◆被災時の波浪状況を以下に記入ください。【被災時の波浪状況が分かる場合】		
M 被災時の沖波波高		0.00 m 分からない場合は「不明」と記入ください。
N 被災時の沖波周期		999.0 秒 分からない場合は「不明」と記入ください。
◆設計区間が複数設定してある場合は、築造時の設計波高が最も大きい設計区間を対象にご回答ください。		
設計区間を記入ください	記入ください	
O 被災時の堤前波高		0.00 m 分からない場合は「不明」と記入ください。
P 被災時の換算沖波波高		0.00 m 分からない場合は「不明」と記入ください。

★これで調査は終了となります。ご協力頂きありがとうございました。